

総合科学技術会議が事前評価を実施した国家的に重要な研究開発 「ターゲットタンパク研究プログラム」（文部科学省）の事後評価について

平成 24 年 11 月 21 日
評価専門調査会

1. 事後評価の実施について

総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発については、「総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」（平成 17 年 10 月 18 日）において、当該研究開発が終了した翌年度に事後評価を行うこととされている。

以下の研究開発が平成 23 年度をもって終了したことから、事後評価を実施することとする。評価は、評価専門調査会が調査・検討を行い、その結果を受けて総合科学技術会議で決定することとする。

2. 評価対象

「ターゲットタンパク研究プログラム」 【文部科学省】

<研究開発概要>

本研究開発は、分野別推進戦略（平成 18 年 3 月 総合科学技術会議）で定めた戦略重点科学技術「生命プログラムの再現科学技術」の中に位置付けられた研究開発であり、「タンパク 3000 プロジェクト評価報告書」の指摘を踏まえ、医学・薬学等への貢献、食品・環境等への応用に向けて、競争的資金制度の枠組の下、タンパク質の構造・機能解析のための要素技術を高度化しつつ、ターゲットとなるタンパク質の構造・機能解析を連携して行い、最終的には、重要な生命機能を担うタンパク質ネットワーク群の作用機序の解明を行うものである。

<実施期間> 平成 19 年度～平成 23 年度

<予算額> ○国費総額 約 213 億円

<総合科学技術会議における評価の経緯>

○事前評価： 平成 18 年 11 月 21 日 （総合科学技術会議決定）

○事前評価のフォローアップ：
平成 20 年 9 月 9 日 （評価専門調査会）

<文部科学省における事後評価の経緯>

- 事後評価：平成23年9月27日
(科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会)

3. 事後評価の進め方

事後評価は、「評価に関する本会議決定」及び「総合科学技術会議が事前評価を実施した研究開発に対する事後評価の進め方について」(平成21年1月19日評価専門調査会)に従って、評価専門調査会に評価検討会を設置して調査検討等を行うものとする。

4. 実施スケジュール (予定)

平成24年11月21日

評価専門調査会

- 評価検討会設置の確認

平成25年1月～3月

評価検討会 (2～3回)

- 評価検討会における調査検討の進め方
- 文部科学省から研究開発成果等の聴取及びそれに対する質疑
- 調査検討のとりまとめの検討

平成25年3月

評価専門調査会

- 評価検討会の調査結果の報告
- 評価結果案のとりまとめ

平成25年3月

総合科学技術会議

- 評価結果の審議・決定
- 評価結果を総合科学技術会議議長から文部科学大臣宛に通知等

ターゲットタンパク研究プログラムの概要

事業期間：
平成19年度～平成23年度

参考1

事業目標

これまでに得られた成果や基盤等を活用しつつ、学術研究や産業振興に重要なタンパク質をターゲットとし、それらの構造・機能解析に必要な技術開発と研究を行う。これにより、生命現象の統合的理解、医学・薬学等の産業への貢献、並びに構築した基盤のより広い分野の研究、産業へ波及効果を与えることを目指す。

事業概要

現在の技術水準では解明が困難なタンパク質の構造機能研究を展開する「ターゲットタンパク研究」と、タンパク質の構造・機能解析を開発し高度化する「技術開発研究」を一体的に推進する。

技術開発

- ・ 21万化合物ライブラリー
- ・ マイクロビームビームライン
- ・ 膜タンパク高難度タンパク生産技術
- ・ タンパク質統合データベース

予算の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	総額
予算額	55.2	52.0	50.0	42.8	12.6	212.6

